



特定非営利活動法人 日本歯周病学会

2025年 第1号 (4月)

# ニュースレター

〒170-0003

東京都豊島区駒込 1-43-9 (一財) 口腔保健協会内

TEL: 03-3947-8891 FAX: 03-3947-8341 <https://www.perio.jp/>

発行人 吉成伸夫 編集 広報委員会

【主要コンテンツ】 追悼：恵比須繁之先生 秋季学術大会関連のご案内 日本歯科専門医機構報告  
各賞・助成の募集と結果 海外学術大会報告 臨床研修会・若手合宿研修報告

## 改革



理事長  
吉成伸夫

このたび、第26期理事長としてご承認いただきました吉成伸夫です。長きにわたる伝統と、常に新知見を創造してきた輝かしい歴史と業績をもつ日本歯周病学会において、その重責に身が引き締まると同時に、将来に向けて新たな「改革」が必要と強く感じています。以下に所信を述べさせていただきます。

日本歯周病学会は、基礎研究から臨床研究まで幅広い分野で活動し、人類と社会の福祉に貢献する学術団体です。現在、歯周病は他臓器疾患の併存症として認識され、生体制御系との関連についての研究が進行中です。臨床では、歯周組織再生療法の細胞応用、新たな治療手技の考案・改良、日本歯科専門医機構認定歯周病専門医の育成・維持、国民皆歯科健診への準備・提言が期待されています。

一方、今年は団塊の世代が後期高齢者となります。超高齢社会がますます進行していき、高齢者の歯周病罹患率上昇に対する対応も急務です。本学会の会員数は順調に増加していますが、このような状況下で60周年記念大会の「京都宣言」を達成し、発展を遂げる

には、本学会の強みであり主業務である研究をメインに変化することが必要です。

沼部幸博前理事長は「継承」と「挑戦」を基本理念とし、多くの課題を丁寧に実行されました。今後は、COVID-19パンデミック以後のリモート技術の普及に伴い、急速に発達するデジタルトランスフォーメーション(DX)への対応・導入に対して新たにDX委員会を立ち上げ、学会の業務改善のみならず、学会あり方委員会とともに各委員会との横の連携強化、スムーズな医科歯科連携、医療ビッグデータ分析等へと進みます。そして、歯周病研究については、学会主導型で研究委員会、PM委員会、歯科衛生士関連委員会で立案、大規模調査研究データの蓄積を行って国際学術誌へ公表し、広報・編集委員会等から発信します。

さらに、多様性を尊重する学会であるためにこれまで以上に若手や女性役員を育成・増加させ、新しい考えやソリューションを学会活動に反映し活躍できる環境を整備します。これにより、将来に夢を託せる学会として入会しやすい体制を構築し、会員数の増加を図ります。

私は、会員各位や本学会を支援してくださる企業様からの意見を反映して、会員目線で上述の改革を推進していきます。今後10年、さらに50年以上にわたり持続可能な活気ある日本歯周病学会の基盤を作ることを目指して、皆様と一緒に邁進する所存です。ご支援のほど、どうぞよろしくお願いたします。

## 追悼 恵比須繁之 先生



2024年5月15日に、日本歯周病学会名誉会員・大阪大学名誉教授の恵比須繁之先生が77歳でご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

恵比須先生は、大阪大学歯学部を1972年に卒業され、同大大学院歯学研究科を1976年に修了された後、同年米国ミシガン大学医学部に留学され、1978年に大阪大学歯学部口腔治療学講座に着任されました。帰国後も、研究に対する厚い志をもち続け、臨床歯科医学の新しい学術研究分野としてデンタルバイオフィーム研究を開拓され、数多くの研究成果を上げられました。

恵比須先生は、1990年2月1日に大阪大学歯学部口腔治療学講座から徳島大学歯学部歯科保存学第一講座の教授に就任され、1996年1月1日に大阪大学歯学部歯科保存学講座教授として戻られるまでの約6年間、徳島大学歯学部ならびに附属病院において教育・研究・臨床に従事されました。特に、細菌感染の第一段階である細菌の付着・定着について、生化学的・分子生物学的に、さまざまな観点から研究を発展させ、歯科界において「デンタルバイオフィーム」の概念を提唱・開拓し、異種細菌間ならびに細菌-細胞間のコミュニケーションを標的としたバイオフィーム制御に関して、基礎的ならびに臨床的に多大な研究成果を挙げられました。

〈徳島大学時代〉恵比須先生は、学生時代に大阪大学サッカー部で活躍されていたことから、当時、私（湯本）が歯学部の5年生時に歯学部サッカー部の顧問をお引き受けいただきました。その1年後に6年生となったサッカー部同期の3人が教授室にて、それぞれの進路について相談させていただいた際、私だけが就

職が決まっていなかったということから、歯科保存学第一講座の大学院生として入局いたしました。学生時代には、研究の世界は全く想像もできておりませんでしたので、研究ならびに大学人としての「いろは」から教わりました。実験がうまくいかなかった際などはもちろん、「得られた結果の信憑性や価値は、実験・研究を行った者が一番よくわかるはずだ」とおっしゃられ、常に研究の課題、過程と結果を考える習慣が身につきました。当時、大学院では歯科の分野でも分子生物学的な研究が広がりつつある時期で、新たな分野へチャレンジし、継続することの重要性も学びました。やはり何事も初めが肝心です。徳島大学に在籍された6年間で、私の同期が初めての大学院生であり、また大学院入学から学位取得まで指導いただきました唯一の学年になります。大阪大学に戻られてからのご功績も考えますと、徳島で恵比須先生にご指導いただいたことは本当に幸せであったと感じます。

〈大阪大学時代〉恵比須先生は、1996年から16年間、大阪大学大学院歯学研究科歯科保存学講座 第4代教授として、教育・研究・臨床に取り組み、デンタルバイオフィーム研究をさらに高みへと発展させていかれました。さらに大阪大学での教授在任期間中には、学内にあっては歯学部附属病院長（2004年）、大阪大学理事・副学長（2011年）の重責を務められ、高い志と先見性をもって、われわれの病院、さらには学部の枠を超えて大阪大学を導いてくださいました。歯学部附属病院の予算も厳しい状況のなか、「各診療科に臨床研究を頑張ってもらいたい」との強い思いをもたれ、事務方からの反対意見もあるなかで、研究推進のための予算を頑として確保されたことを思い出します。学外にあっては、日本歯科保存学会理事長をはじめ、この限られた紙面では書き尽くせないほどの学外委員・役職を歴任され、強いリーダーシップを発揮されました。これらの活動が高く評価され、日本歯科医学会会長賞をはじめとする、数多くの賞を受賞されておられます。

恵比須先生は、大阪大学を退職（2015年）され名誉教授となられた後も、特任教授・招聘教授として研究活動を継続されました。退職後は、服装も（相変わらずダンディでいらっしゃいましたが）カジュアルになり、くつろいだご様子で研究を楽しんでおられました。

折に触れ、私（村上）の教授職終盤での悩み事についても、和やかな雰囲気でお話をいただきました。私の最終講義にもご臨席を賜りましたが、祝賀会には体調不良ということで、出席いただくことができませんでした。その後、突然の訃報が届き、悲しみとともに、無念の思いが心にあふれました。

思い出は尽きることがありませんが、恵比須先生よりお教えいただきましたことを後進へ継承していきたいと思っております。これまでのご指導に心より感謝を申し上げますとともに、先生のご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

※徳島大学時代の思い出は湯本が、大阪大学時代の思い出は村上が執筆いたしました。



徳島大学大学院医歯薬学研究部歯周歯内治療学分野  
湯本浩通  
大阪大学名誉教授 村上伸也

## 第 68 回秋季日本歯周病学会学術大会開催のご案内

令和 7 年（2025 年）10 月 17 日（金）、18 日（土）の 2 日間にわたり、第 68 回秋季日本歯周病学会学術大会を新潟市の朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターにおいて開催いたします。今大会のメインテーマは「国民のための歯周治療とその未来」としました。歯周病の罹患率は依然として高い水準でありながら、総人口の減少と高齢化率の上昇に伴い、年齢構造が変化していくことは避けられない状況です。健康への課題や国民のニーズにおいてもそのボリュームゾーンが変化するなかで、この時代に合わせた国民のための歯周治療を本大会では考えたいと思っております。同時に、発展的な未来に向けての学術活動の促進は日本歯周病学会の使命といえます。若手研究者を中心とした、未来を創る基礎・臨床研究に企画の焦点を当てたいと考えております。

大会プログラム 1 日目におきましては、特別講演 I としまして、歯周病の免疫学的研究におけるトップランナーとして Niki Moutsopoulos 先生（NIH/NIDCR, Laboratory of Host Immunity & Microbiome）にご講演をいただく予定です。シンポジウム I においては「歯周治療の未来を創る：若手研究者たちの挑戦」として、新進気鋭の若手研究者である、芝 多佳彦先生（東京科学大学歯周病学分野）、新城尊徳先生（九州大学歯周病学分野）、中村 心先生（岡山大学歯周病態学分野）、中島麻由佳先生（新潟大学歯周診断・再建学分野）の講演を企画しています。シンポジウム II におきまして

は、「歯科再生医療の未来を創る：科学と臨床のフロンティア」をテーマとして、近未来医療としての歯科再生医療に関わり、基礎研究・臨床応用・社会実装の観点から、歯科再生医療の進展と課題について考えるシンポジウムを企画します。森田和機先生（東京科学大学歯周病学分野）、岩山智明先生（大阪大学口腔治療学講座）、加治屋幹人先生（広島大学口腔先端治療開発学）、泉 健次先生（新潟大学生体組織再生工学分野）にご登壇をいただきます。また、倫理委員会企画講演におきましては、竹下博徳先生（御茶ノ水ひまわり法律事務所）にご講演をいただきます。こちらは日本歯科専門医機構の共通研修項目⑤医療関連法規に申請予定です。

大会プログラム 2 日目は、特別講演 II におきまして、高田淳子先生（厚生労働省医政局歯科保健課歯科口腔保健推進室）にご登壇いただき、国民皆歯科健診についての最新の情報をアップデートしていただくことを予定しております。シンポジウム III におきましては、現代の国民課題と歯周治療について最新ガイドラインの要点を踏まえたご講演をいただく企画です。抗菌薬の適正使用について中川種昭先生（慶應義塾大学歯科・口腔外科学教室）、高齢者における歯周治療について佐藤 聡先生（日本歯科大学新潟生命歯学部歯周病学講座）、MRONJ と口腔感染について梅田正博先生（愛知学院大学歯学部）にご登壇をいただく予定です。シンポジウム IV におきましては、テーマを「国民のニー

ズに応える歯周治療」として、「歯周基本治療と患者管理（仮）」谷口崇拓先生（谷口歯科医院）、「低侵襲な歯周外科治療（仮）」岩野義弘先生（岩野歯科クリニック）、「有病者の歯周治療（仮）」水谷幸嗣先生（東京科学大学歯周病学分野）のご講演をお願いしております。歯科衛生士シンポジウムにおきましては、タイトルを「歯周病管理への協働—歯周病で困らない社会をみんなで考えよう」として、歯周病の罹患状況および行政施策について浦邊萌絵先生（新潟県福祉保健部健康づくり支援課歯科保健係）、歯周病管理における行動変容の有効性および課題について諏訪間加奈先生（新潟大学口腔保健学分野）、臨床におけるメンテナンスの有効性と歯周病の評価について葎原明弘先生（新潟大学口腔保健学分野）よりご講演をいただきます。また、日本歯科専門医機構共通研修申請予定（③医療安全）の講演として、瀬尾憲司先生（新潟大学歯科麻酔学分野）にご講演をいただく予定です。

会期中におきましてはその他、認定医・専門医教育講演、歯科衛生士教育講演、一般口演・ポスター、歯科衛生士口演・ポスター、ランチョンセミナー、スイーツセミナー、歯周組織再生医学優秀論文賞受賞者講演、学部学生ポスター等を企画しております。詳細につきましては学術大会ホームページにてご案内いたします。

新潟市の10月中旬は、紅葉が色づき始め、朝晩は肌寒さを感じることもありますが、日中はとても過ごしやすい時期です。新潟県は南北に約240kmと広がり、世界遺産に登録された佐渡金山をはじめ、観光地や自然豊かな景勝地が方々に点在しています。その広さゆえに移動には時間がかかるため、どこかを訪問する場合はあらかじめの計画をお勧めします。新潟といえば、美味しい水と米。それが生み出す日本酒は格別です。さらに、日本海の新鮮な海の幸や、山の恵みを活かした郷土料理も魅力のひとつ。全国どこでも美味しいものが食べられる時代ですが、地元ならではの旬の食材や、コストパフォーマンスの高い絶品料理を味わうことができるのは、新潟を訪れてこそその楽しみです。近年は山形県と消費量の1位・2位を競う「ラーメン県」としても注目されています。ぜひ、新潟の食を十分に堪能してください。

スタッフ・関係者一同、全力で準備を進めております。ぜひとも皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

大会長 多部田康一

## 1. 会期

令和7（2025）年10月17日（金）、18日（土）

## 2. 会場

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター  
〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号  
TEL：025-246-8400

## 3. テーマ

国民のための歯周治療とその未来

## 4. 事前参加登録期間および参加登録費

令和7（2025）年6月11日（水）正午より  
令和7（2025）年8月1日（金）正午まで

	事前参加登録	当日参加登録
正会員	5,000円	8,000円
準会員（上記以外）	3,000円	6,000円
非会員（歯科医師・医師）	10,000円	13,000円
非会員（上記以外）	5,000円	8,000円
学生（歯学部・専門学校生）	1,000円	1,000円

## 5. 演題申込および抄録登録期間

令和7（2025）年5月20日（火）正午より  
令和7（2025）年6月19日（木）正午まで

登録期間終了日は、アクセス集中によるエントリー遅延、不具合が起こりやすいので、早めに登録をおすませください（登録期間以降は、受付・オンライン修正・削除はできません）。発表方法に関する詳細は、学術大会ホームページで案内予定です。演題登録時には登録サイトにて、留意事項を必ずご確認のうえ、ご応募くださいますようお願い申し上げます。



第 68 回秋季日本歯周病学会学術大会 事務局  
新潟大学大学院医歯学総合研究科  
歯周診断・再建学分野  
準備委員長：野中由香莉  
〒 951-8514 新潟市中央区学校町通 2-5274  
TEL：025-227-2871 FAX：025-227-0808

第 68 回秋季日本歯周病学会学術大会 運営事務局  
株式会社日本旅行西日本 MICE 営業部  
〒 530-0001 大阪市北区梅田 1-1-3  
大阪駅前第 3 ビル 3 階  
TEL：06-6440-1420 E-mail：jspf68@nta.co.jp

## 第 68 回秋季日本歯周病学会学術大会臨床ポスター (認定医・歯周病専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター) 発表申込のご案内

学術大会における臨床ポスター（認定医・歯周病専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター）発表の演題募集は、一般演題とは別になります。受付は学術大会ホームページからのみになりますのでご注意ください。以下に概要を記します。

演題申し込みおよび抄録作成方法などの詳細は学術大会 Web サイト上で公開予定です。認定医・歯周病専門医と歯科衛生士症例のポスターカテゴリーごとに必ずご確認ください。

### 1. 演題発表資格

いずれのカテゴリーとも、筆頭発表者が歯周病専門医ならびに学会認定資格（認定医・指導医あるいは認定歯科衛生士）を有している必要はありませんが、筆頭発表者と発表における責任者は本学会会員に限ります。また、本学術大会における筆頭発表は 1 名 1 演題までといたします。詳細は学術大会ホームページをご参照ください。

### 2. 演題申込および抄録登録期間

令和 7（2025）年 5 月 20 日（火）正午より

令和 7（2025）年 6 月 19 日（木）正午まで

#### 【注意事項】

A) 臨床ポスター、歯科衛生士ポスターは症例発表の場で、臨床研究の発表は認めておりません。臨床研究に該当する場合、一般演題での登録をお願いします。

B) 「認定医・歯周病専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方（薬機使用の考え方）」

[https://www.perio.jp/member/certification/recognition/file/new/info\\_220602.pdf](https://www.perio.jp/member/certification/recognition/file/new/info_220602.pdf)

「学術大会・臨床ポスター応募症例チェックリスト（学術大会ポスターチェックリスト）」

<https://www.perio.jp/member/award/file/special/>

poster\_checklist.pdf

上記を遵守いただきますようお願いします。



薬機使用の  
考え方



ポスター  
チェックリスト

C) 登録期間終了日はアクセス集中によるエントリー遅延・不具合が起りやすいので、お早めに登録をおすませください。

D) 演題申込時には学術大会ホームページ記載の留意事項を必ずご確認のうえ応募くださいますようご案内申し上げます。上記事項を逸脱する行為および演題内容については、発表をお断りすることがあります。

### 3. 臨床ポスター発表の特典

臨床ポスター発表を行うと、筆頭発表者に対して資格申請・更新に必要な所定の研修単位が付与されます（歯周病専門医の申請時、および認定医と歯周病専門医の更新時の生涯研修単位における業績発表単位は 10 単位、認定歯科衛生士の申請時・更新時の生涯研修単位における業績発表単位は 10 単位）。なお、感謝状の授与方法は第 65 回春季学術大会時より「学術大会終了後郵送」に変更となっております。

### 4. 臨床・症例ポスターの発表様式

パネルサイズは高さ 210 cm×幅 90 cm です。表示形式および表記様式、ポスター討論についての留意事項を学術大会ホームページにてご案内していますのでご確認ください。**演題番号の個所や顔写真の掲示場所、「同意や承認」（手術の患者同意あり、発表の患者同意あり、未承認薬等不必要の表示、利益相反状態の開示（コメント））の記載場所、ポスター討論の時間等細かく規定されていますので必ずご確認ください。**印刷前に PDF 形式で発表データを提出いただき、認定

3 委員会・大会校により、事前チェックを行います。なお、演題登録後に抄録の変更や討論時の発表者交代は認められません。問題がございましたら運営事務局にご連絡ください。

#### 5. ポスター賞について

認定医・歯周病専門医優秀臨床ポスター賞は選考対象となることを希望された発表が、ベストデンタルハイジニスト賞は歯科衛生士ポスター発表として演題登録いただいた発表のうち症例発表が選考対象となります

す（ただし、留意事項を遵守されていない場合は対象外）。受賞発表および表彰は次回学術大会（第 69 回春季日本歯周病学会学術大会）にて行います。その際、受賞ポスターは再掲しますので、発表ポスターの保管（データ版・紙版とも）にご協力願います。

歯周病専門医審査委員会 山本松男  
認定医委員会委員長 藤田 剛  
歯科衛生士関連委員会委員長 三谷章雄

## 歯周病専門医・指導医・認定医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ

日本歯周病学会では、本年度の認定医・歯周病専門医・指導医および認定歯科衛生士の申請と更新、ならびに歯周病専門医研修施設および学会認定研修会の申請を受け付けます。各資格についてのタイムスケジュールは以下のとおりです。

### 1. 歯周病専門医・指導医申請（第 73 回専門医・指導医認定審査）および各資格の更新

令和 7（2025）年 6 月 23 日（月）：受付開始

令和 7（2025）年 7 月 11 日（金）：締切（消印有効）

令和 7（2025）年 7 月 18 日（金）：申請および更新に関する書類審査会開催

令和 7（2025）年 9 月 28 日（日）：（歯周病専門医申請者のみ）歯周病専門医本試験（ケースプレゼンテーション、口頭試問、ならびに筆記試験）開催

※第 68 回専門医認定審査より筆記試験が導入されました。書類審査合格通知時に詳細をご案内します。

令和 7（2025）年 10 月 16 日（木）：各資格申請・更新合格者を理事会で承認

令和 7（2025）年 10 月 17 日（金）：第 68 回秋季学術大会（新潟）時に合格発表

令和 7（2025）年 12 月頃：歯周病専門医審査合格証・指導医認定証発行\*

※日本歯科専門医機構発行の歯周病専門医認定証は令和 7（2025）年度末に行われる運用審査承認後に発行予定

### 2. 認定医申請（第 34 回認定医認定審査）および更新

令和 7（2025）年 7 月 14 日（月）：受付開始

令和 7（2025）年 8 月 1 日（金）：締切（消印有効）

令和 7（2025）年 8 月 21 日（木）：申請および更新に関する書類審査会開催

今回の申請より、認定医親規申請書類の提出方法が一部変更となります。詳細につきましては、学会ホームページにてご確認ください。

令和 7（2025）年 10 月 16 日（木）：（申請者のみ）筆記試験会場：朱鷺メッセ

申請・更新合格者を理事会で承認

令和 7（2025）年 10 月 17 日（金）：第 68 回秋季学術大会（新潟）時に合格発表

令和 7（2025）年 12 月頃：認定医認定証発行

⇒平成 30（2018）年 1 月 1 日より、新規認定医申請の際に、本学会が行う倫理に関する講演の受講（1 回以上）が義務付けられました。

第 34 回認定医筆記試験より試験範囲が変更となります。「一般演題（臨床）チェックリスト」「臨床ポスターチェックリスト」「認定医・歯周病専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方」（日本歯周病学会会誌第 66 巻秋季特別号 p23～26 参照）

### 3. 認定歯科衛生士申請（第 41 回認定歯科衛生士認定審査）および更新

令和 7（2025）年 6 月 2 日（月）：受付開始

令和 7（2025）年 6 月 20 日（金）：締切（消印有効）

令和 7（2025）年 7 月 13 日（日）：申請および更新に関する書類審査会開催

令和 7（2025）年 8 月 31 日（日）：（申請者のみ）

ケースプレゼンテーション

令和 7（2025）年 10 月 16 日（木）：申請・更新合格者を理事会で承認

令和7(2025)年10月17日(金):第68回秋季学術大会(新潟)時に合格発表  
令和7(2025)年12月頃:認定歯科衛生士認定証発行・認定歯科衛生士襟章送付

以上の各資格の申請・更新手続き,申請書類や規則等については,学会ホームページ(<https://www.perio.jp>)をご確認ください。ホームページに記載された方法に準拠しない申請・更新手続きは無効となります。

なお,規則・細則は改定されることがありますので,ホームページにおける申請受付前1カ月以内の最新の記載内容を確認してください。

### 歯周病専門医研修施設申請・更新のお知らせ

歯周病専門医の研修施設を認定する制度です。申請・更新受付とも期間は令和7(2025)年6月23日(月)~令和7(2025)年7月11日(金)(消印有効)で

す。申請・更新手続きについては,学会ホームページ(<https://www.perio.jp>)に記載してありますので,これに従い手続きを行ってください。

### 認定医,歯周病専門医・指導医更新に関わる研修単位を取得できる歯周病専門医審査委員会が認めた歯周病に関する学会および研修会申請についてのお知らせ

歯周病学に関する専門的研修に寄与する学会,指導医等主催による任意の研修会について,研修単位取得対象研修会として認定する制度です。申請期間は令和7(2025)年6月23日(月)~令和7(2025)年7月11日(金)(消印有効)です。手続きの方法等を学会ホームページ(<https://www.perio.jp>)に記載しておりますので,これに従い手続きを行ってください。令和7(2025)年8月末頃までに歯周病専門医審査委員会の審査による認定の諾否を通知いたします。

## 学会プロモーション活動について

国民に対する歯周病啓発活動について,進捗状況をお伝えします。

### 1. 国民向け新ホームページ「ペリオおぶっく」

2024年11月28日に公開しました。歯周病専門医と認定歯科衛生士の検索機能は引き続き構成中です。リンクフリーですので,勤務先ウェブサイトへペリオおぶっくの掲載を歓迎します。

<https://periobook.perio.jp/>



ペリオおぶっく

会・歯科衛生士会における歯科に関する普及活動で「にゃんかむちゅ〜」キャラクターを使用したい,イベント会場で動画を放映したい場合は,学会事務局までご相談願います。



にゃんちゃん  
CV:花江夏樹



チュー太  
CV:花江夏樹



かば山かば彦  
CV:花江夏樹

### 2. 国民向け歯周病関連のPR動画の作成

歯周病非関心者向け動画「にゃんかむちゅ〜Season3」をいい歯の日(2024年11月8日)に公開しました。今年度は既存の動画コンテンツを生かした普及活動を実施予定です。また,自治体や地域の歯科医師



にゃんかむちゅ〜  
公式YouTube  
チャンネル

## 日本歯科専門医機構報告

現時点までの歯周病専門医に関する対応について、ご報告いたします。流動的な状況もございますので、今後、取り扱い等の変更が発生する可能性があることをあらかじめご了承ください。これからも、タイムリーに情報を発信させていただきますので、会員情報の登録内容のご確認、ならびに電子メールご登録をお願いいたします。

口腔保健協会会員システム「OHASYS」

<https://ohasys.net/login>

※会員番号の確認はお手元の

会員カードをご参照ください。



### 1. 日本歯科専門医機構「共通研修」について

令和6(2024)年度より、歯周病専門医新規・更新の手続きに際し、『①医療倫理、②患者・医療者関係の構築、③医療安全、④院内感染対策、⑤医療関連法規・医療経済』の受講歴が各1単位以上かつ、5項目を含む共通研修単位を毎年度2単位、計10単位取得の義務付けが本施行となりました。

歯周病専門医(含む、指導医)新規・更新手続きに際しては、学会ホームページに掲載しているフローチャートを利用し、現時点のご自身の共通研修単位をご確認ください。

歯周病専門医「共通研修」確認用

フローチャート(新規・更新共通)

[https://www.perio.jp/member/certification/special/application\\_jdsb.shtml](https://www.perio.jp/member/certification/special/application_jdsb.shtml)



本学会では会員負担を考慮し、春季・秋季学術大会内で「共通研修」に認定された講演を実施し、本学会学術大会への参加(現地・オンライン問わず)のみでカリキュラムを満たせるよう講演プログラムを編成しております。今後は、以下を開催予定です。

- 第68回春季学術大会:③医療安全(医療安全委員会企画講演)
- 第68回秋季学術大会:⑤医療関連法規・医療経済(倫理委員会企画講演)、ならびに大会校企画講演を開催予定です。

歯周病専門医資格の取得および更新をお考えの先生におかれましては、必要とされる「共通研修」の単位

を確実に取得するために、各学術大会へ参加(Web参加も可能)のうえ、共通研修を受講してください。

### 2. 歯周病専門医の認定証発行について

日本歯科専門医機構認定歯周病専門医として制度が変更されたことに伴い、本学会が発行していた歯周病専門医の認定証は、取り止めとなりました。それに代わる証明として、歯周病専門医審査(1次審査)に合格された方には「歯周病専門医審査合格証」を登録料入金後発送します。また、「歯周病専門医記念の楯(希望者のみ)」についても「歯周病専門医審査合格証の楯(希望者のみ)」に変更となっております。

なお、日本歯科専門医機構発行「歯周病専門医認定証」は、同機構による認定審査(2次審査)終了後、発行予定です。

### 3. 令和6(2024)年度以降における機構認証に関わる受益者負担(経費負担)について

令和6(2024)年度以降の歯周病専門医更新料/登録料に日本歯科専門医機構審査料として11,000円を上乗せし、受益者負担となっております。

### 4. 日本歯周病学会認定「歯周病専門医」記載終了時期について

日本歯科専門医機構の基本領域に対応する5つの学会認定専門医について、当面の間に限り広告を認めるとしていた経過措置を令和10(2028)年度末で終了する旨、令和6(2024)年3月29日付で厚生労働省より発出されました。現行の歯周病専門医における広告標榜は令和11(2029)年度以降、【日本歯科専門医機構認定歯周病専門医】のみとなり、【日本歯周病学会認定歯周病専門医】という記載は不可となりますのでご注意ください。

### 5. その他

今後、日本歯科専門医機構の方針により、歯周病専門医、ならびに同研修施設の新規申請・更新時に関する基準などが変更になる可能性があります。その対応に関してはなるべくご負担にならない方法を本学会内で引き続き検討中ですが、急な変更となることもございますので、学会からのご連絡(電子メール、ニューズレターの内容等)をその都度ご確認いただきますようお願いいたします。

## 第 64 回韓国歯周病学会学術大会参加報告

The 64th General session of Korean Academy of Periodontology (韓国歯周病学会学術大会) が 2024 年 10 月 19, 20 日にソウルで開催されました。日本歯周病学会からは 7 名が参加し、沼部幸博理事長の招待講演ならびに 3 名のポスター発表が行われました。

The 65th General session of Korean Academy of

Periodontology は、本年 10 月にソウルまたは近郊で開催予定です。詳細は決まり次第、ご案内いたします。

皆様お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

前理事長 沼部幸博  
国際交流委員会前委員長 吉村篤利

## 第 110 回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会 2024 年大会参加報告

The 110th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology (第 110 回アメリカ歯周病学会) が、日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会との共催で、2024 年 10 月 30 日～11 月 3 日にサンディエゴで開催されました。日本歯周病学会ならびに日本臨床歯周病学会からは 180 名を超える会員が参加し、10 題の口演と 54 題のポスター発表が行われました。

同大会中に実施されたリーダーシップミーティングにて、第 112 回アメリカ歯周病学会がシアトルにて日本臨床歯周病学会・日本歯周病学会との共催で開催されることが決定しました。詳細は決まり次第、ご案内いたします。

前理事長 沼部幸博  
国際交流委員会前委員長 吉村篤利



リーダーシップミーティング後の記念撮影

## 令和7（2025）年度 春季総会について

春季総会は以下の日時に開催予定です。参加人数の把握のため、出欠を事前に回答願います。

5月12日（月）頃より、回答フォームでの受付開始予定です。詳細は、口腔保健協会会員管理システム「OHASYS」による電子メール配信でご案内いたします。

日時：5月23日（金）10：10～11：40

場所：那覇文化芸術劇場なはーと

大劇場

議事事項：庶務報告、会計報告、  
各種委員会報告、その他

総会終了後、各賞表彰式実施



回答フォーム

## 各賞・研究助成・若手合宿研修・若手研究者の集いのご案内

各賞・助成および企画の募集を下記のとおり行います。いずれも学会ホームページにて詳細をご確認ください。

### 1. 学術賞 (LION Award: 第25回, 令和7(2025)年度)

令和6（2024）年度実績：採択数2/応募数6

本賞は、会員のうち歯周病学において継続して優れた業績を上げた研究者の功績を讃えることを目的に設けられました。副賞としてライオン株式会社のスポンサーシップを得ており、本賞（学術賞楯）のほかに副賞20万円と楯（LION Award）が贈られます。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。



<https://www.perio.jp/member/award/science.shtml>

申請期間：令和7（2025）年

4月14日（月）～6月13日（金）

申請書類提出用ID：JSP-2025

書類提出用パスワード：JSP2025Gakujutsu

### 2. シーズ育成若手奨励研究助成 (令和8(2026)年度)

令和7（2025）年度実績：採択数1/応募数2

本会では若手会員を対象とし、わが国における歯周病の研究・教育・医療および予防を推進することにつながるシーズ研究を奨励することを目的として、シーズ育成若手奨励研究助成を制定しております。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。



<https://www.perio.jp/member/assist/>

申請期間：令和7（2025）年

4月14日（月）～6月13日（金）

申請書提出用ID：JSP-2025

書類提出用パスワード：JSP2025Seeds

### 3. 企画調査研究助成 (令和7～8(2025～2026)年度)

令和5（2023）年度実績：採択数1/応募数2

本会では、わが国における歯周病の研究・教育・医療および予防を推進することにつながる多施設研究を推進することを目的として、企画調査研究助成を制定しております。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。



※平成30（2018）年度より研究助成期間が2年間となりました。次回の募集は令和9（2027）年4月（令和9～10（2027～2028）年度実施分）となります。

[https://kokuhoken.sakura.ne.jp/jsp/form\\_project/](https://kokuhoken.sakura.ne.jp/jsp/form_project/)

申請期間：令和7（2025）年

4月14日（月）～6月13日（金）

申請書提出用ID：JSP-2025

書類提出用パスワード：JSP2025Kikaku

### 4. 地域活動賞 (令和7(2025)年度)

令和6（2024）年度実績：採択数0/応募数1

日本歯周病学会地域活動賞は、歯周病の予防・治療を通して、地域住民の健康増進に寄与した優れた活動業績を上げられた団体を表彰することを目的として平成30（2018）年度に創設されました。応募資格をご確



認のうえ、奮ってご応募ください。

<https://www.perio.jp/member/award/regional.shtml>

申請期間：令和7（2025）年  
2月3日（月）～5月31日（土）

※申請方法は郵送のみです（消印有効）

#### 5. 歯周組織再生医学優秀発表賞（KAKEN Award：令和7（2025）年度秋季学術大会発表）

令和6（2024）年度（秋季）実績：採択数2/応募数2

本賞は、日本歯周病学会各学術大会においてポスター発表された歯周組織再生に関する優れた研究（臨床・基礎は問わない）および筆頭演者を表彰することを目的とし、令和5（2023）年度に創設されました。本賞は副賞として科研製薬株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には本賞（歯周組織再生医学優秀発表賞楯）のほかに、副賞KAKEN Award（賞金5万円ならびにトロフィー）が贈られます。学会ホームページの応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。



<https://www.perio.jp/member/award/presentation.shtml>

申請期間：令和7（2025）年  
5月20日（火）～6月19日（木）

申請書提出用ID：JSP-2025  
書類提出用パスワード：JSP2025Saisei

#### 6. 学部学生優秀発表賞（Nakanishi Award：令和7（2025）年度）

令和6（2024）年度実績：採択数1/応募数2

本賞は日本歯周病学会学術大会における学生の参加および優秀な発表を奨励し、本学会のさらなる活性化を図ることを目的とし、令和5（2023）年度に創設されました。本賞は副賞として株式会社ナカニシのスポンサーシップを得ており、受賞者には表彰状のほかに、副賞Nakanishi Award（賞金5万円ならびに表彰楯）が贈られます。学会ホームページの応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。



<https://www.perio.jp/member/award/student.shtml>

申請期間：令和7（2025）年  
5月20日（火）～6月19日（木）

申請書提出用ID：JSP-2025  
書類提出用パスワード：JSP2025Gakusei

#### 7. 若手研究者の集い（第58回、令和7（2025）年度）

本集いは春季学術大会時に合わせて開催しており、会員であればどなたでも参加可能です。詳細につきましては4月以降、学会ホームページで通知いたします。

日時：令和7（2025）年5月22日（木）

〔春季学術大会前日〕

18：00～20：00（予定）

場所：沖縄県市町村自治会館

演者：福田隆男先生（九州大学病院歯周病科講師）

演題：歯肉幹細胞由来エクソソームを応用した歯周炎治療の開発に向けて

#### 8. 若手合宿研修（第11回、令和7（2025）年度）

本研修会は、若手研究者のリサーチマインドをさらに活性化することを目的としております。特に海外留学経験者や現在留学中の先生方のお話を聞くことを主として、留学を本気で考えている先生から「研究留学ってなんだ？」と思われる先生まで、どなたでも参加可能となっています。他の大学に所属する同世代の先生と知り合いになるいい機会でもあります。研修形式は、秋季学術大会に合わせて開催される講演会と懇親会を含む1泊2日の合宿イベントで、お得な参加費（宿泊費込み）でおいしいお話を聞きながら食事を楽しむスタイルです。詳細につきましては、秋季学術大会の演題募集時期に合わせて学会ホームページで通知いたします。

日時：令和7（2025）年10月17日（金）～18日（土）

〔秋季学術大会初日から2日目〕（予定）

場所：ホテルひさご荘（新潟県新発田市）

※秋季学術大会会場から往復送迎バスとなります。

定員：30名程度

費用：5,000円

## 歯科衛生士教育講演・臨床研修会のご案内

### 教育講演

今年度は秋田県・島根県での開催を予定しております。詳細は決定次第、ホームページで通知いたします。

<https://www.perio.jp/member/>

### 臨床研修会

今年度は三重県・北海道での開催を予定しております。詳細は決定次第、ホームページで通知いたします。

<https://www.perio.jp/member/>

## 第6回東北地区（青森）臨床研修会開催報告

主催：特定非営利活動法人日本歯周病学会

共催：一般社団法人青森県歯科医師会

大会長：福士賢治

（一般社団法人青森県歯科医師会会長）

実行委員長：齋藤 淳

（東京歯科大学歯周病学講座教授）

運営事務局：東京歯科大学歯周病学講座内

（担当：勢島 典）

日時：令和6（2024）年9月28日（土）

14：00～18：10

会場：青森県歯科医師会館

メインテーマ：「歯周治療をゴールに導く」

プログラム

・教育講演Ⅰ「歯周治療の基本と関連背景のアップデート」

多部田康一（新潟大学大学院医歯学総合研究科歯周診断・再建学分野教授）

・歯科衛生士教育講演「歯科衛生士の臨床を科学する：歯科衛生ケアプロセス」

齋藤 淳（東京歯科大学歯周病学講座教授）

・教育講演Ⅱ「FGF-2 製剤を用いた歯周組織再生一日常臨床にどう取り入れるか？」

今村健太郎（東京歯科大学歯周病学講座講師）

・教育講演Ⅲ「歯周病患者へのインプラント治療の考え方」

梅原一浩（医療法人審美会梅原歯科医院理事長）

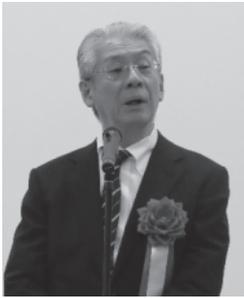
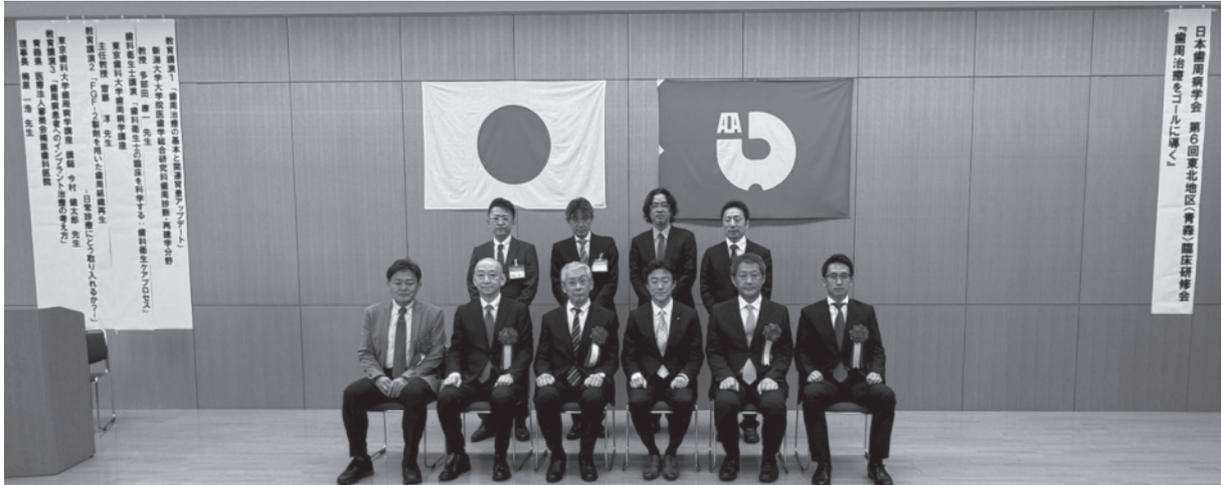
令和6年9月28日、青森市において日本歯周病学会第6回東北地区臨床研修会を開催いたしました。この時期としては残暑が厳しい、秋晴れの日に行列ま

した。

本臨床研修会は、「各地域の歯周病の予防ならびにその治療の向上を通じて国民の口腔保健に寄与する」目的を達成するための学会活動の一つとして、歯周病学・歯周治療学に関する新しい情報や技術、ガイドラインに沿った治療の啓発を行うため、全国各地にて開催されてきました。今回は青森県歯科医師会との共催事業として開催され、福士賢治 青森県歯科医師会会長、伊藤 真 学術担当常務理事をはじめとした同会執行部各位、事務職員の方々の多大なご協力により、滞りなく準備・運営を行うことができました。研修会当日は青森県内のみならず、東北近県および関東・甲信越地区からも参加され、歯科医師39名、歯科衛生士10名、計49名のご参加をいただきました。

今回の臨床研修会は「歯周治療をゴールに導く」をメインテーマとし、歯周基本治療から歯周組織再生療法そしてインプラント治療にいたるまで、一連の治療の基本的知識をアップデートする機会として、4名の先生方にご講演をいただきました。

当日は、大会長である福士賢治先生、沼部幸博理事長および齋藤 淳実行委員長による開会挨拶に始まりました。多部田康一先生の教育講演Ⅰでは「歯周治療の基本と関連背景のアップデート」と題して、歯周病の病因論や診断に関連する昨今の状況について説明がなされ、歯周基本治療にて押さえるべきポイントの確認と解説がありました。齋藤 淳先生は歯科衛生士教育講演「歯科衛生士の臨床を科学する：歯科衛生ケアプロセス」と題して、歯科衛生ケアプロセスの基本的な考え方、臨床応用について講演されました。歯科衛生士との協働のありかたについて解説がなされ、専門性の向上について示唆に富む内容でした。教育講演Ⅱ



では、今村健太郎先生より「FGF-2 製剤を用いた歯周組織再生—日常臨床にどう取り入れるか?—」と題して歯周組織再生療法について講演がなされました。基本治療の重要性、そして切開を行ううえでの注意点、再生療法を成功に導くためのポイントについて解説がなされました。教育講演Ⅲでは、梅原一浩先生から「歯周病患者へのインプラント治療の考え方」と題する講演がなされました。日本歯周病学会、日本口腔インプラント学会のガイドラインに基づき、歯周病を有する患者にインプラント治療を行ううえでのポイント、イ

ンプラント治療後のメンテナンスも含め示唆に富んだ講演内容でした。最後に、臨床研修委員会委員長である多部田康一先生の閉会挨拶により、盛会のうちに幕を閉じました。

ご参加くださった先生方、協賛いただきました企業各社様、また青森県歯科医師会をはじめ本研修会に協力いただいたすべての方々に、心より感謝申し上げます。

臨床研修委員会委員 勢島 典

## 各賞・助成選考結果

各賞・助成の概要につきましては、学会ホームページに掲載しております。なお対象者および受賞者の所属は、選考・受賞時のものです。

シーズ育成若手奨励研究助成（令和6（2024）年度）

内沼真吹

（明海大学歯学部再生医工学講座歯周病学分野）

「咬合性外傷による抗菌ペプチド発現が歯周炎による骨吸収に及ぼす影響について」



第24回学術賞（LION Award：令和6（2024）年度）

岩下未咲

（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯周歯内治療学分野）

「脂肪細胞-マクロファージ相互作用による炎症の増幅機構の解明」



白井通彦

（九州歯科大学歯学部歯周病学分野）

「歯周病の病態解明，並びに治療法開発のための骨・歯肉上皮・歯根膜の分子基盤研究」



第22回会誌賞（MORITA Award：令和6（2024）年度）

基礎分野 「マウス骨芽細胞様細胞におけるグルコース欠乏によって発現変動する遺伝子解析と硬組織分化に及ぼす影響」65巻（4）：117-124，2023

田口洋一郎，嘉藤弘仁，李潤伯，中田貴也，山内伸浩，東 仁，万代千晶，緒方智壽子，梅田 誠

筆頭著者所属：大阪歯科大学歯学部歯周病学講座



臨床分野 「セメント質剥離の治療予後」

65巻（4）：149-158，2023

山崎厚作，山崎幹子，高橋慶壮  
筆頭著者所属：奥羽大学歯学部歯科保存学講座歯周病学分野



優秀臨床ポスター賞  
（Quintessence Award：第67回春季学術大会）

最優秀賞ポスター賞

萬代千恵

（医療法人すみれ会 まんだい千恵歯科）

「大白歯に局限した深い垂直性骨欠損に対しEMDを用いて歯周組織再生療法を行なった一例」



優秀賞ポスター賞

宮下 徹

（宮下歯科医院）

「広汎型重度慢性歯周炎患者に対する非外科的歯周治療の40年経過症例」



ベストデンタルハイジニスト賞  
（TAKARA BELMONT Award：第67回春季学術大会）

植村美穂

（アキモトプライベートデンタルオフィス）

「患者中心の歯周治療：広汎型慢性歯周炎（ステージⅢグレードC）・脳出血後遺症患者へのアプローチの一症例」



歯周組織再生医学優秀発表賞 (KAKEN Award)

第 67 回春季学術大会発表

信太実有

(九州大学大学院歯学研究院  
口腔機能修復学講座歯周病学  
分野)  
「アメロジェニンが他家皮膚  
モデルマウスの拒絶反応に及  
ぼす影響」



中山洋平

(日本大学松戸歯学部歯周治  
療学講座)  
「エムドゲイン®ゲルおよびリ  
グロス®による歯周組織再生  
療法における術後 1 週間の創  
傷治癒比較」



歯周組織再生医学優秀論文賞 (KAKEN Award)

森本 慎

(広島大学歯学部歯周病態学  
研究室)  
“A Cartilaginous Construct  
with Bone Collar Exerts  
Bone-Regenerative Property  
Via Rapid Endochondral  
Ossification”  
(Stem Cell Reviews and Reports (2023) 19 : 1812-  
1827)



松浦孝典

(東京科学大学大学院医歯学  
総合研究科歯周病学分野)  
“Assessment of bone defect  
morphology for the adjunctive  
use of bone grafting  
combined with enamel ma-  
trix derivative : A 3-year cohort study”  
(Journal of Periodontology (2024) 95 (9) : 809-820)



令和 7 (2025) 年度功労賞

日本歯科薬品株式会社  
Haleon ジャパン株式会社

令和 7 (2025) 年度地域活動賞

受賞者なし

## 第 10 回若手合宿研修開催報告

若手合宿研修は、日本歯周病学会の若手研究者を対象として秋季学術大会の開催に併せて実施しており、今回が第 10 回となりました。本研修は海外留学の促進、若手研究者間の交流、ならびにリサーチマインドの活性化を目的とし、学会理事の基調講演や留学経験のある先生方の経験談などをご講演いただきました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、第 7 回と第 8 回は日帰りでのセミナー研修という形で開催

しましたが、昨年度より本来の宿泊を伴う研修会となりました。今年度は朝里川温泉ホテル武蔵亭にて開催いたしました。

今回は 3 名の先生の経験談に耳を傾けました。日本歯周病学会の会員で留学経験のある、東京科学大学前川祥吾先生 (留学先：米国ミシガン大学、ハーバード大学)、新潟大学 原 実生先生 (留学先：米国カリフォルニア州立大学サンディエゴ校) および岡山大学



写真1



写真2



写真3

中村 心先生（留学先：米国ノバサザンイースタン大学）から、留学先の紹介、留学にいたった経緯や準備に必要なこと、現在の研究環境や家族を取り巻く生活環境、さらには経済事情まで、多岐にわたる話題をご提供いただきました（写真1）。最後に、サンスター財団の高世尚子様より、財団の留学派遣についてご説明いただきました（写真2）。

研修会後には、懇親会を行いました。今回は参加者の希望が多かった学会前日の開催であったため、理事の先生方の参加が困難であったことが残念でしたが、お酒も入って参加者とワーキンググループの先生方の話はずみ、参加者が気軽に交流を図れる良い機会となりました（写真3）。

研修後に行ったアンケート調査では、「講演後、あなたの留学への思いは」という質問に対し、「強くなった」との意見が多数寄せられました。また、今後についても回答者の全員が継続を希望しておりました。来年度以降も引き続き、学会の若手研究者の皆様にとって有

益なコンテンツとして企画してまいりますので、奮ってのご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、参加された先生方のご協力により、無事開催することができました。本研修会の企画・開催にあたりまして、学会あり方委員会委員長の齋藤 淳先生、ご講演いただきました前川先生、原先生、中村先生、ワーキンググループの先生方に感謝申し上げます。

若手合宿研修ワーキンググループ 2024 年度幹事  
菊池 毅（愛知学院大学）

次回幹事よりお知らせ：次回「若手合宿研修」は、第 68 回秋季日本歯周病学会学術大会に併せて開催いたします。新潟の地で、若手の先生方同士が知り合い、留学について知見を広げられるような研修を予定しています。留学や研究に興味のある、若手研究者の皆さんのご参加をお待ちしております。

2025 年度幹事 松田真司（広島大学）

## 日本歯周病学会会誌のご案内

前回のニュースレター以降、日本歯周病学会会誌に掲載されました論文をご紹介します。日本歯周病学会会誌は2015年よりオンライン化され、J-STAGEで閲覧できます。また、発行に合わせてメールアラートを配信しておりますので、学会にメールアドレスを登録されていない会員各位におかれましては、本学会ホームページよりご登録をお願いします。

日本歯周病学会会誌

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/periodo/-char/ja>



### 日本歯周病学会会誌 Vol. 66 (2024) No. 3

#### • ミニレビュー

「歯周組織形成および再生を司る間葉系幹細胞集団の探索」

永田 瑞, 岩田隆紀

#### • 原著

「表面麻酔ゲルの歯周ポケット内注入塗布法によるスケーリング・ルートプレーニング時の鎮痛効果：無作為化クロスオーバー試験」

山本龍生, 入江浩一郎, 宮内里美, 上田佳奈, 藤谷崇人, 細川美和, 福田修二, 三宅美代, 花村裕之, 小森朋栄, 佐藤 孝, 田島菜穂子, 稲垣 覚, 関野 仁, 石井里加子, 大橋 功, 喜田さゆり, 市川由香, 佐藤由美, 河野寛二, 三辺正人

#### • 症例報告

「歯科介入により高齢者糖尿病を有する広汎型慢性歯周炎患者に対して歯周基本治療により血糖コントロールの改善に至った症例」

徳丸 操, 永原隆吉, 上田智也, 河野祥子, 岩田倫幸, 應原一久, 水野智仁

#### • 教育賞

「神奈川県大学附属病院でのハブラシコンセイエ®認定による教育効果」

青山典生, 荘司 琴, 藤崎みのり, 渡邊真由美,

杉原俊太郎, 辻上博美, 井野 智, 小牧基浩

### 日本歯周病学会会誌 Vol. 66 (2024) No. 4

#### • 総説

「歯肉上皮バリア機能制御を基軸とした新規抗歯周病薬開発の基礎的研究」

高橋直紀

#### • ミニレビュー

「広汎型重度歯周炎患者に対する口腔機能回復治療」

高橋慶壮, 山崎幹子, 山崎厚作

「妊婦の歯周疾患と早産・低体重児出産」

加藤幸紀, 杉山のどか, 植原 治, 清水伸太郎,

古市保志, 長澤敏行

#### • 原著

「COVID-19 感染拡大下における SPT 患者の来院間隔の変化と歯周病臨床パラメーターへの影響」

高井瑞穂, 齋藤由未, 伊藤正一, 武田 萌, 勝又 剛,

小林 諒, 中川就太, 西野智子, 服部菜見子,

細野恒太, 山崎真依, 山崎陽祐, 鶴屋祐人,

山口亜利彩, 小方頼昌

#### • トピック紹介

「Er:YAG レーザーによる歯周治療を上皮性付着から考える」

藤田 剛

#### • 症例報告

「乳がん既往歴から歯肉がんが疑われた根尖付近まで至る重度歯肉退縮に対して根面被覆術と歯根端切除術を行った一症例」

三上理沙子, 岩田隆紀

#### • 歯科衛生士コーナー

「歯科衛生士が知っておきたい周術期等口腔機能管理の知識と対応」

鈴木 瞳

#### • JSP/JACP ポスターセッション抄録集

## 役員名簿

日本歯周病学会役員（令和7（2025）年4月1日～令和9（2027）年3月31日）

理事長	吉成伸夫							
副理事長	岩田隆紀							
常任理事	稲垣幸司	河口浩之	木下淳博	小牧基浩	齋藤 淳	佐藤秀一	高柴正悟	
	竹立匡秀	辰巳順一	多部田康一	長澤敏行	中島貴子	西村英紀	新田 浩	
	林 丈一朗	藤田 剛	松下健二	水野智仁	三谷章雄	山田 聡	山本松男	
	湯本浩通							
前理事長	沼部幸博							
監事	村上伸也		吉江弘正					
庶務担当	吉村篤利	（幹事 出分菜々衣）		会計担当	佐藤 聡	（幹事 両角祐子）		
学会運営調整役	西村英紀							
名誉会員	安孫子宜光	雨宮 璋	新井 高	荒木久生	荒川真一	池田雅彦	石川 烈	
	伊集院直邦	和泉雄一	伊藤公一	伊東隆利	上田雅俊	上野和之	梅田 誠	
	太田紀雄	大塚吉兵衛	大野友三	岡田 宏	小方頼昌	岡本 莫	岡本 浩	
	奥田克爾	加藤 熙	金子 至	亀山洋一郎	鴨井久一	栢 豪洋	川瀬 俊夫	
	川浪雅光	五味一博	栗原英見	斎藤和子	坂上竜資	零石 聰	島内英俊	
	下野正基	末田 武	申 基喆	菅谷 勉	滝口 久	田中昭男	谷口威夫	
	出口眞二	中島啓介	永田俊彦	中村治郎	二階宏昌	野口和行	野村慶雄	
	原 宜興	東 克章	廣瀬哲之	福田光男	船越栄次	古市保志	前田勝正	
	三辺正人	宮下 元	宮田 隆	村上伸也	村山洋二	森田 学	八重柏 隆	
	矢嶋俊彦	山崎和久	山田 了	横田 誠	吉江弘正	渡邊達夫		
Alice DeForest	Gregory J. Seymour	Martin A. Taubman	Pierre C. Baehni	Thomas E. Van Dyke				

評 議 員 □理事長 ●副理事長 ◎常任理事 ○理事

北海道大学大学院歯学研究所	東京歯科大学	滝口 尚(歯周病, 准)
高橋直紀(歯周病, 教)	◎齋藤 淳(歯周病, 教)	小出容子(歯周病, 講)
田中佐織(大学病院, 教)	富田幸代(歯周病, 准)	須田玲子(歯周病, 講)
北海道医療大学歯学部	今村健太郎(歯周病, 准)	神奈川歯科大学
◎長澤敏行(歯周・歯内, 教)	◎石原和幸(微生物, 教)	◎小牧基浩(歯周病, 教)
加藤幸紀(歯周・歯内, 講)	伊藤太一(口腔インプラント学, 准)	杉原俊太郎(歯周病, 講)
森 真理(大学病院, 講)	日本歯科大学生命歯学部	◎児玉利朗(横浜クリニック, 教)
門 貴司(歯学教育開発, 准)	◎沼部幸博(歯周病, 教)	鎌田要平(横浜クリニック, 准)
岩手医科大学歯学部	伊藤 弘(歯周病, 准)	鶴見大学歯学部
村井 治(歯周療法学, 講)	関野 愉(歯周病, 准)	◎長野孝俊(歯周病学, 教)
東北大学大学院歯学研究科	五十嵐寛子(歯周病, 講)	八島章博(歯周病学, 准)
◎◎山田 聡(歯内・歯周, 教)	倉治竜太郎(歯周病, 講)	小林一行(短期大学部, 教)
根本英二(歯内・歯周, 准)	葛城啓彰(共同利用研究セ, 教)	白川 哲(短期大学部, 教)
奥羽大学歯学部	◎仲谷 寛(総合診療, 教)	北村景子(附属病院, 衛)
◎高橋慶壮(歯周病, 教)	小川智久(総合診療, 教)	松本歯科大学
山崎幹子(口腔病態解析制御学, 講)	大澤銀子(総合診療, 准)	□吉成伸夫(保存(歯周), 教)
新潟大学大学院医歯学総合研究科	加藤智崇(総合診療, 准)	◎宇田川信之(生 化, 教)
◎◎多部田康一(歯周診断・再建, 教)	日本歯科大学新潟生命歯学部	音 琴 淳 一(健康増進口腔科学, 教)
杉田典子(歯周診断・再建, 講)	◎◎佐藤 聡(歯周病, 教)	小出雅則(硬組織疾患制御再建, 准)
川瀬知之(歯科薬理, 准)	両角祐子(歯周病, 准)	田口 明(歯科放射線, 教)
野中由香莉(総合病院, 講)	大森みさき(総合診療, 准)	西窪結香(大学病院, 衛)
明海大学歯学部	高塩智子(総合診療, 准)	吉田明弘(微生物, 教)
◎◎林 丈一朗(歯周病, 教)	◎両角俊哉(保存1, 教)	朝日大学歯学部
猪俣 恵(微生物, 教)	平野 恵実(歯科衛生科, 衛)	◎◎辰巳順一(歯周病, 教)
東京科学大学	日本大学歯学部	北後光信(歯周病, 准)
◎◎岩田隆紀(歯周病, 教)	◎◎佐藤秀一(歯周病, 教)	須藤瑞樹(歯周病, 助教)
青木 章(歯周病, 教)	高山忠裕(歯周病, 准)	友藤孝明(社会口腔保健, 教)
芝 多佳彦(歯周病, 講)	蓮池 聡(歯周病, 講)	荒木美穂(歯科衛生士専門学校, 衛)
前川祥吾(歯周病, 助教)	今井健一(感染免疫学, 教)	愛知学院大学歯学部
竹内康雄(生涯口腔保健衛生, 教)	日本大学松戸歯学部	◎◎三谷章雄(歯周病, 教)
片桐さやか(口腔生命医科, 教)	中山洋平(歯周治療, 教)	菊池 毅(歯周病, 准)
◎◎木下淳博(教育メディア開発, 教)	高井英樹(歯周治療, 准)	林 潤一郎(歯周病, 准)
◎◎新田 浩(総合診療歯科, 教)	泉福英信(感染免疫, 教)	西田英作(歯周病, 講)
水谷幸嗣(総合診療歯科, 講)	昭和医科大学歯学部	後藤久嗣(歯周病, 講)
鈴木 瞳(口腔健康教育, 講)	◎◎山本松男(歯周病, 教)	◎◎稲垣幸司(短期大学, 教)

○長谷川義明(微生物, 教)  
大阪歯科大学  
嘉藤弘仁(歯周病, 准)  
沖永敏則(微生物, 教)  
前田博史(口腔治療, 教)  
大阪大学大学院歯学研究科  
◎○竹立匡秀(口腔治療, 教)  
山下元三(口腔治療, 講)  
野崎剛徳(総合歯科, 准)  
徳島大学歯学部  
◎○湯本浩通(歯周歯内, 教)  
二宮雅美(歯周歯内, 助教)  
稲垣裕司(歯周病科, 講)  
尾崎和美(口腔保健支援, 教)  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
◎○高柴正悟(歯周病態, 教)  
大森一弘(歯周病態, 准)  
○山本直史(総合歯科, 教)  
広島大学歯学部  
◎○水野智仁(歯周病態, 教)  
◎○河口浩之(歯科医学教育学, 教)

柴秀樹(歯髓生物, 教)  
九州歯科大学  
白井通彦(歯周病, 准)  
守下昌輝(クリニカルトレーニング開発, 准)  
村岡宏祐(クリニカルトレーニング開発, 講)  
九州大学大学院歯学研究科  
◎○西村英紀(歯周病学, 教)  
讚井彰一(大学病院, 講)  
福田隆男(大学病院, 講)  
福岡歯科大学  
吉永泰周(歯周病, 准)  
○金子高士(口腔医療センター, 教)  
米田雅裕(総合歯科, 教)  
田中芳彦(感染生物, 教)  
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科  
白方良典(歯周病, 准)  
中村利明(歯周病, 講)  
長崎大学歯学部  
◎○吉村篤生(歯周歯内, 教)  
尾崎幸生(歯周歯内, 助教)  
鶴飼孝(口腔管理センター, 教)

慶應義塾大学  
○中川種昭(歯科・口腔外科, 教)  
森川暁(歯科・口腔外科, 講)  
大垣女子短期大学  
◎○松下健二(歯科衛生学科, 教)  
神戸常盤大学保健科学部  
山城圭介(口腔保健学科, 教)  
高橋由希子(口腔保健学科, 衛)  
静岡県立大学短期大学部  
吉田直樹(歯科衛生学科, 教)  
東京歯科大学短期大学  
○杉戸博記(歯科衛生学科, 教)  
日本歯科大学東京短期大学  
○野村正子(歯科衛生学科, 衛)  
松澤澄枝(歯科衛生学科, 衛)  
特定非営利活動法人日本臨床歯周病学会  
○石谷昇司(推薦)  
公益社団法人日本歯科衛生士会  
○河野章江(推薦)

一般関係 (五十音順)

相野誠(愛知県)  
赤堀康(愛知県)  
浅原洋士(徳島県)  
新井英雄(岡山県)  
有田博一(東京都)  
飯野文彦(東京都)  
池田康男(静岡県)  
池田頼宣(東京都)  
○石原裕一(愛知県)  
市原健太郎(福岡県)  
市村光(埼玉県)  
伊藤正満(愛知県)  
稲垣伸彦(東京都)  
岩田光弘(岡山県)  
岩野義弘(東京都)  
岩本義博(香川県)  
○内田剛也(神奈川県)  
内田雄士(広島県)  
江田昌弘(神奈川県)  
遠藤憲行(岩手県)  
大石慶二(香川県)  
大浦清(大阪府)  
大江丙午(岡山県)  
岡部京平(京都府)  
小田茂(千葉県)  
片山明彦(東京都)  
鎌田征之(東京都)

上條博之(長野県)  
亀井英彦(栃木県)  
鴨井久博(東京都)  
川村浩樹(東京都)  
菊池重成(東京都)  
北村秀和(東京都)  
木次大介(長野県)  
北村正博(大阪府)  
木村英隆(福岡県)  
久保田健彦(新潟県)  
熊谷敦史(岩手県)  
○黒柳隆穂(愛知県)  
香坂陽介(山口県)  
小林哲夫(新潟県)  
小林宏明(東京都)  
斎田寛之(埼玉県)  
迫田賢二(鹿児島県)  
佐藤昌美(北海道)  
真岡淳之(滋賀県)  
佐野哲也(東京都)  
澤田弘一(岡山県)  
汐見登(静岡県)  
志田哲也(神奈川県)  
洪川義宏(北海道)  
島袋善夫(大阪府)  
鈴木瑛一(東京都)  
鈴木基之(東京都)

関野仁(東京都)  
田井秀明(新潟県)  
高井靖子(群馬県)  
高島昭博(福岡県)  
高橋潤一(東京都)  
高山真一(滋賀県)  
滝川雅之(岡山県)  
田口洋一郎(大阪府)  
武内崇博(神奈川県)  
田中繁寿(岐阜県)  
田中秀樹(福岡県)  
田中真喜(神奈川県)  
谷口崇拓(長野県)  
土岡弘明(千葉県)  
土井伸浩(広島県)  
富井信之(新潟県)  
◎○中島貴子(新潟県)  
中田貴也(京都府)  
長縄敬弘(愛知県)  
永原隆吉(広島県)  
成石浩司(岡山県)  
西田哲也(東京都)  
菱川敏光(岐阜県)  
平井友成(福岡県)  
○平野治朗(神奈川県)  
平野裕之(京都府)  
藤川謙次(東京都)

◎○藤田剛(三重県)  
藤本淳(岩手県)  
保坂均(群馬県)  
穂坂康朗(東京都)  
牧野明(富山県)  
町頭三保(鹿児島県)  
三浦真由美(福岡県)  
○水上哲也(福岡県)  
峯柴淳二(岡山県)  
宮尾益佳(新潟県)  
村上弘(愛知県)  
村田雅史(新潟県)  
村橋慶宣(大阪府)  
目澤優(埼玉県)  
茂木信道(神奈川県)  
茂木美保(東京都)  
安田忠司(愛知県)  
梁川輝行(岩手県)  
柳田学(大阪府)  
山下素史(福岡県)  
吉田茂(福岡県)  
○若林健史(東京都)  
渡辺和志(埼玉県)  
渡辺孝章(神奈川県)  
渡辺久(東京都)

## 賛助会員

医歯薬出版(株)

(株)NDC

エビス(株)

(有)エルバ

長田電機工業(株)

(株)ガイドデント

花王(株)

科研製薬(株)

クインテッセンス出版(株)

グラクソ・スミスクライン・コン

シューマー・ヘルスケア・ジャパン

(株)

小林製薬(株)

佐藤製薬(株)

サンスター(株)

サンデンタル(株)

三宝製薬(株)

(株)ジーシー

(株)ジーシー昭和薬品

(株)松風

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)

ジンヴィ・ジャパン合同会社

ストローマン・ジャパン(株)

タカラベルモント(株)

デンタルプロ(株)

デンツプライシロナ(株)

(株)トクヤマデンタル

(株)ナカニシ

(株)ニッシン

日本歯科薬品(株)

白水貿易(株)

ビューフレディ・ジャパン合同会社

(株)フィリップス・ジャパン

ホワイトエッセンス(株)

(株)マイクロテック

(株)モリタ

(株)ヨシダ

ライオン(株)

ライオン歯科材(株)

(株)ワイディエム

(五十音順)

日本歯科医学会役員（令和7（2025）年定時社員総会終結時～令和9（2027）年定時社員総会終結時）

理事 吉成伸夫

評議員 岩田隆紀 小牧基浩 齋藤 淳

予備評議員 佐藤 聡 佐藤 秀一 吉村 篤利

【お願い】 名称の変更・所属評議員の異動等ありましたら、すみやかに事務局までご連絡ください。

## 編集後記

ニュースレター 2025年4月号をお届けします。今年度より吉成伸夫先生が新理事長に就任され、巻頭では「改革」というキーワードで所信を述べられています。今後50年以上にわたり持続可能な活気ある学会としての基盤を構築することを目指して、ますます進行していく超高齢社会での高齢者の歯周病罹患率上昇や急速に発達するDX(Digital Transformation)へ対応すべく、新たにDX委員会を立ち上げ、各委員会との横の連携を強化し、医科歯科連携や医療ビッグデータ分析等を推進し、さらに多様性を尊重する学会であるための環境整備を行うことなど、多くのミッションが掲げられています。

また、本学会の発展に尽力された故 恵比須繁之先生の追悼文も掲載しております。日本専門医機構報告では、「共通研修」「認定証発行」や「受益者負担」について掲載されており、今後も変更の可能性もあることから、本ニュースレターでUpdateした情報を提供していきたいと思っております。若手合宿研修の報告、各賞・助成等の選考結果や募集等についても掲載しておりますので、奮って応募いただきますよう、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスによる人の往來の制限も解除され、国際交流ではサンディエゴでのアメリカ歯周病学会との共催大会や、地域での臨床研修会も開催されており、ますます会員の交流が盛んになることと思います。

最後に、今秋に新潟市で開催されます第68回秋季学術大会(多部田康一大会長)の案内もぜひご一読いただければと思います。「国民のための歯周治療とその未来」のテーマで充実したプログラムが組まれていますので、多くの会員の先生方にご参加いただき、活発な討論や意見交換の場としていただければと思います。

広報委員会としては、学会プロモーション活動として、国民向け新ホームページ「べりおぶっく」や歯周病関連のPR動画の作成を行ってまいります。

(広報委員会委員長 湯本浩通)